

6月2日(水)
令和3年(2021年)

発行所
〒112-0002
東京都文京区小石川5-4-4
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京03-(5842)8750番
振替 00120-9-56573番
<http://www.coatingmedia.com>

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル

COP 向け UV プライマーを投入 大成ファインケミカル

アクリル、ウレタンを中心とした樹脂合成受託を得意とする大成ファインケミカル。樹脂メーカーによる生産品目の統廃合が進む中、顧客の要望に対応するカスタマイズ力に同社の存在感が高まっている。

その中で成長領域に位置づけるハードコート分野においては、今年1月にUV硬化型プライマー「CP」を投入。タッチパネル向けに需要を伸ばすCOPフィルム及び未処理COPフィルムに対して高い密着性を実現した。

上塗りであるウレタンアクリレートやDPHAとの密着性も確認。芳香族ナフサとMEKを溶剤組成とする「CP-2007」(固形分30±1%)とトルエン、MEKを溶剤組成とする「CP-2012」(同48±1%)の2タイプを揃える。「同2012」は中国、韓国、台湾でのインベントリ登録に対応した。担当者は「コロナ処理工程を省くことが可能になり、生産性の向上に寄与する」と強調。今後は、プライマーとしての活用により各種UV硬化樹脂との組み合わせを可能にするなど、用途拡充の可能性を広げている。

一方、同社は昨年末にバイオマス由来のアクリルポリオールとアクリルポリマーを上市。時代の先を見据えた環境配慮技術を本格化している。

バイオマスアクリルポリオール「6BX-002」は最大30%まで、バイオマスアクリルポリマーの「1BX-001」は最大50%までバイオ度化を可能にした製品。バインダー樹脂のバイオ成分付与として幅広い用途に適應する他、ガラス転移温度や分子量のカスタマイズの対応を可能にしている。